

中央区 自治協議会だより 第15号

平成28年11月20日発行 発行:新潟市中央区 自治協議会だより編集部 電話:223-7023(地域課内)

中央区自治協議会の活動内容を「自治協議会だより」で年3回お知らせします。

区民の皆さんと行政との「協働の要」である区自治協議会では、地域の特色あるまちづくりを進めるため、38人の委員が区役所と連携しながら活動しています。

自治協議会の議事の内容はホームページ(http://www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyokaigi_kaisai) = QRコード=で公開しています。



拠点と賑わいのまち部会

11/27にフォーラムを開催

当部会では昨年度、中心市街地や鳥屋野潟の未来について、市民が率直に考えていることを調査したうえで「未来に備えた地域の賑わい創出・活性化」をテーマにした調査報告書を作成しました。

今年度はその報告書をもとに、グランドデザインとして5つの未来プランをまとめました。その成果を11月27日の公開フォーラム「なつかしき未来の街」未来に備えた地域の賑わい創出・活性化フォーラム」=左=で披露します。

パネルディスカッションでは、中心市街地などで活躍している右記の3人をパネリストに迎え、それぞれの立場や視点で、少子高齢化などの未来への備えを語っていただきます。

多くの皆さんからこのフォーラムに参加いただき、中心市街地や鳥屋野潟の未来について想像し、考えるきっかけにして欲しいと思います。



座長 浅野昌禧

■「なつかしき未来の街」未来に備えた地域の賑わい創出・活性化フォーラム

回 11月27日(日) 午後1時30分～4時30分

◆基調講演「ぶらっと新潟にぎわいのまち」

講師 木原四郎さん(旅するイラストレーター。NHK新潟放送の旅番組「きらっと新潟・イラスト紀行」に出演中)

◆部会からの提案報告

◆パネルディスカッション～未来に備えた地域の賑わい創出と活性化

パネリスト 松井大輔さん(新潟大学工学部助教)、高岡はつえさん(沼垂テラス商店街店舗統括マネージャー)、相楽治さん(NPO法人新潟水辺の会代表)

コーディネーター 津吉孝司さん(中央区自治協議会拠点と賑わいのまち部会 委員)

オブザーバー 木原四郎さん

場 クロスパルにいがた ※「礎町」バス停から徒歩3分。駐車場は有料で限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

人 先着150人 申 当日直接会場

問 区自治協議会事務局(地域課内、☎223-7023)

“なつかしき未来の街”
未来に備えた地域の賑わい創出・活性化フォーラム

日時 平成28年11月27日(日) 13:30～16:30(開場13:00)
会場 クロスパルにいがた 4階 映像ホール(新潟市中央区礎町通3ノ町2086)

入場無料 先着150名

お問い合わせ:中央区自治協議会事務局(中央区役所地域課)
〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1 TEL 025-223-7023(直通) FAX 025-223-3660
主催 新潟市中央区自治協議会

水辺とみなとのまち部会



国和山コース(7月23日)

当部会では、7・8月にみなとまち新潟のまちなみや施設を親子で巡る「夏休み親子社会科体験 訪ねよう!北前船物語」を、日和山・沼垂発酵・西大畑の3コースで開催しました。

私が同行した8月18日の沼垂発酵コースには、親子7組14人と新潟シティガイドの皆さん、自治協委員ら24人が参加。「みなとびあ」と「旧小澤家住宅」で北前船について学んだ後、沼垂地

域の酒蔵やみそ蔵を見学し、北前船が沼垂の発酵文化の発展に大きく関わっていたことを知りました。

沼垂の神社も北前船とのつながりが深く、沼垂白山神社に向かい合う乙子神社や金刀比羅神社には、航海の安全を祈願する船絵馬などの奉納物がありました。子どもたちは宮司さんからの詳しい説明を、目を輝かせながら聞いていました。

北前船を通じて、子どもや保護者の皆さんからみなとまち新潟の歴史や文化に興味や関心を持ってもらうことができました。

2019年の開港150周年につながる前向きな光景を見ることができ、自治協委員としてたいへん嬉しく感じました。



委員 小島良子

人にやさしい暮らしのまち部会

当部会では、地震や津波などの災害への備えについて、昨年度の「自助」の観点からの調査・研究に引き続き、今年度は「共助」の観点から調査・研究を行っています。

ことし9月には災害時の自治・町内会員の安否確認への取り組みや、「災害時要援護者申請・登録制度」の周知の状況を調査しようと、区内の全512自治・町内会にアンケートを行い、370を超える自治・町内会から回答をいただきました。

アンケート結果は現在集計中ですが「災害時要

援護者申請・登録制度」や「災害時要援護者避難支援マニュアル」そのものはある程度認知されているようです。しかし、制度の運用状況は自治・町内会により差があるように感じました。

今後、アンケートの集計結果をもとに、より簡易な災害時要援護者避難支援マニュアルを作成し、年明けにも各自治・町内会へ配布する予定です。



座長 田村勝義

区自治協議会の主な議事(抜粋)

平成28年6月(第3回)～9月(第6回)

6月から9月までに毎月開催した中央区自治協議会全体会での議事や報告事項などの中で、委員が質問・意見・提案を述べたものを抜粋し紹介します。

▶区の方検討委員会報告書等について(第4回)

委員

- 1.自治協議会への若い世代の参画について質問
- 2.区独自の歳入確保や予算組みについて質問

事務局

- 1.若い世代の参画を今後の検討課題とする旨回答
- 2.区づくり予算など、区の裁量で事業が行える予算は増加しており、その方向性を維持しつつ、今後も区の権限強化の検討を進めていきたい旨回答。

▶中央区役所の移転について

委員(第5回)中央区役所の移転について、現在の動きや予算の方向性を事前に自治協議会に示して欲しいと意見。

事務局

(第5回)予算審議は議会案件であり、区役所によりよい行政サービスの提供について今後自治協議会に示していきたい旨回答。

(第6回)移転の現状を報告。市民サービスのさらなる向上を目指し、さまざまな手続きを1カ所で行う「ワンストップサービス」を推進する旨説明。

▶万代・宮浦乳児・長嶺保育園移転統合、東地域保健福祉センター移転事業について(第6回)

委員 駐車場の整備計画について質問

事務局 駐車場は50台分の予定。保育園(1・2階)、地域保健福祉センター(3・4階)の利用時間帯をずらした有効活用を行うこと、夜間の運用については今後検討していく旨回答。

区民参加のまちづくり 第7回自治協議会の概要

10月28日の全体会議では、事務局から区自治協議会の見直し、公共施設の地域別実行計画などについて報告があったほか、各部会からも報告がありました。

※会議の概要や資料は、市役所本館1階市政情報室で閲覧できます。区ホームページには順次掲載します。

■次回の開催案内

回 11月25日(金) 午後3時から(受け付けは2時30分から) 場 市役所本館6階 講堂

※議題は、市役所本館1階エレベーター前掲示板、東・南出張所に掲示するほか、区ホームページに掲載します。傍聴者の定員 先着20人

問 地域課企画担当(☎223-7023)

編集後記

自治協だより第15号をお届けします。

前回、7月の特集号で「あなたの身近にも自治協委員」として委員38人全員を顔写真付きで掲載したところ、大きな反響がありました。今後も工夫して自治協議会の活動を伝えていきます。

区民の皆さんに愛される自治協だよりを発行できるよう心掛けてまいりますので、よろしく願いいたします。

自治協議会だより編集部 副座長 関谷美紀枝